

基本構想

- 市民と行政がともに将来に描いて共有する、これからの草津市のまちづくりの構想（グランドデザイン）です。
- 草津市議会における議決を受けて策定しています（令和●（20●●）年●月●日議決。

この基本構想の期間は、令和3（2021）年度から令和14（2032）年度までとします。



市の花：アオバナ

第1章 将来ビジョン

1. 将来に描くまちの姿

私たちのまちは、多くの方から“住みやすい”まちであると評価を得ていますが、今後、人口減少局面を迎えるとともに少子高齢化が進行することに伴い様々な課題が顕在化してきます。

将来においても、このまちをさらに発展させていくとともに、“住みよさ”を維持しながら、誰もが生きがいをもち、健やかで幸せを感じられるまちであるためには、これまでのまちづくりの歩みをとめることなく、様々な課題に果敢に挑戦していかなければなりません。

ここに、私たちの将来のまちの姿を描き、新たな思いを胸に、“ひと・まち・とき”の“つながり”を大切にしながら、未来を一步ずつ切り拓いていきます。



ひと・まち・ときをつなぐ

絆をつむぐ ふるさと



— 絆をつむぐ ふるさと

人と人、人から地域、まちへと広がる“つながり”から生まれる“絆”をつむぐことで、私たちのまちにぬくもりや心地よさが醸成され、まちへの湧き上がる愛着と誇りが生み出されます。

そして、その心は、“くさつ愛”へと変わり、まちづくりの原動力となるとともに、ときを重ねても、私たちのまちは、誰からも愛される“ふるさと”となります。



— 人々のつながり —

人と人との「出会い」から生まれる“つながり”を大切にし、つながりの輪を育み、深めることで、やさしさと思いやりの心が育まれます。

また、人と“つながる”ことで、心も身体も健康となり、元気があふれ、笑顔が輝きます。

そして、人の“つながり”は、地域へと広がり、活気に満ちあふれたまちとなっていきます。

— 地域のつながり —

地域(※)の魅力や資源を結び、“つながり”が生まれることで、活力があふれ、まち(※)がさらに発展していきます。

また、誰もが住み慣れた地域で快適に暮らせる環境を整え、まちの中に“つながり”をつくることで、将来にわたって“住みやすい”まちとなっていきます。

まち
※「地域」は各学区や町内会など、
「まち」は草津市を指しています。

— 時代のつながり —

様々な“つながり”をつむぐことにより、“住みやすい”まちは、親から子へ、子から孫へと受け継がれていきます。

そして、私たちのまちは、将来にわたり、住む人、訪れる人、誰からも愛されるまちとなっていきます。

健幸創造都市 草津



健幸創造都市 —

また、人と人、人から地域、まちへと“つながり”が広がることで、まちの資源や魅力が一層輝き、活気に満ちた大きなエネルギーが生み出されます。

そして、その大きな力は、様々な課題に果敢に挑戦する知恵や勇気へと変わるとともに、未来を切り拓いていくための力となり、ときを重ねても、私たちのまちは、全体にいつまでも活気がにあふれ、住む人、訪れる人、誰もが“健幸”な都市になれるまちとなります。

